

日々輝学園高等学校だより

=平成30年2月27日発行=

- (1) 「わかる・できる」という実感を大切に、「学ぶ力」を高めます。
- (2) 組織的・多角的なメンタルサポートで、「心の力」を引き出します。
- (3) さまざまな体験学習を通して、「社会とかかわる力」を培います。
- (4) 多様な進路指導を展開し、主体的に進路を選択する態度・能力を養います。



横浜校校長 森田 真 〒224-0041 横浜市都筑区仲町台 1-10-18 TEL(045)945-3778

Hp: <http://www.hibiki-gakuen.ed.jp> Email: yokohama@hibiki-gakuen.ed.jp

「 信 じ る 」

作詞 谷川 俊太郎
作曲 松下 耕

笑うときには大口あけて
おこるときには本気でおこる
自分にうそがつけない私
そんな私を私は信じる
信じることに理由はいらぬ

地雷をふんで足をなくした
子どもの写真目をそらさずに
黙って涙を流したあなた
そんなあなたを私は信じる
信じることでよみがえるいのち

葉末の露がきらめく朝に
何をみつめる子鹿のひとみ
すべてのものが日々新しい
そんな世界を私は信じる
信じることは生きるみなもと

作詞者 谷川俊太郎さん

「信じることに理由はいらぬ」ということが一番大事だと思います。論理的や科学的に信じることもあるかもしれませんが、信じるという行為の中には感情がとても入っています。理由のない深い感情や強い感情にもとづく「信じる行為」を描きたいと思いました。

● 平成29年度日々輝学園横浜校の学校評価についてご報告いたします

生徒と保護者の皆様より真摯な回答の数々をいただきました。日頃より本校の教育活動に深いご理解と温かなご協力をいただいている結果と感謝しています。ありがとうございます。

いずれの項目においても、皆様からの回答の大半は肯定的なものでしたが、添えられたコメントなどを拝読させていただき、少なからぬ方々が何らかの課題と不安を抱えていらっしゃることを知りました。それらを厳粛に受け止めて今後に生かしたいと考えております。

1、学ぶ力について

「意欲的な授業の取り組み」については、残念ながら前年比で肯定的なとらえの方がやや減少しました。3年目となる他教科TTの効果維持はされていますが、いくつかの教科に課題がみられますので、早急に改善に着手いたします。また「家庭学習の習慣化と適切な宿題」に関して、やはり教員の取り組みが相変わらず怠りがちです。生徒の大半からは「宿題や課題があればきちんと取り組んでいる」との回答を得られているのですから、宿題の質と量とを丁寧に調整しながら提示するようにいたします。

次年度は、特に英語検定のための「日々輝塾」への参加に力を入れます。そのために英語検定担当者と担任や英語科がチームとなり力のある生徒へアプローチして生徒の意欲を高めるように努めます。

2、心の力について

「安心して安定した学校生活」を送っていると感じている生徒が多くうれしく思います。そして、保護者の方々も前向きな評価をしてくださいましたことに感謝いたします。教員は、これに安住しないで常にアンテナを高く張って生徒らと共にあり続けるように努力をします。

「先生やカウンセラーが悩みの相談について親身に応じてくれる」との設問では、保護者様より前年度以上に良い評価をいただきました。こうした声にさらに応えられるように生徒に寄り添う丁寧な指導体制を作ります。具体的にはTT授業や個別指導などに工夫を凝らして安定化を図り、落ち着いた学習環境を整えます。さらに教員とカウンセラーとが各々の役割を分担して丁寧な相談活動を行なえるようにいたします。

今、積極的な心の安定と滋養のために、校舎全体で合唱への取り組みを試行して、有志を入れて40名余りの生徒が定期的に練習に取り組んでいます。楽しく安定した学校生活を継続させるために積極的な活動を展開していく予定です。

3、社会とかかわる力について

「体験学習を通して生徒の成長が感じられる」の項目では、いずれからも良い評価をいただきました。今年度いくつかの実習内容を改善したことが実を結んだように見受けられます。これからも今以上に生徒らが楽しく満足できる体験学習を実施して参ります。

進路指導では、卒業までに全員の進路が確定するように全力を傾けます。「進路情報の提供」については、全ての教員にその折々に最重要の情報を必ず提供できる力量を育成いたします。

「ボランティア体験を通して生徒を高める機会を設けている」への回答は、残念ながら前回をやや下回りました。夏季の福祉体験、地域清掃と花壇作り、地区センター・町内会の奉仕活動、PTA・「おやじの会」へのサポートなど多くのボランティアへの参加要請があるのですが、生徒の参加率は減少傾向が続いていました。これまで多方面より寄せられている本校への高い評価を壊さないようにいたします。そのために今一度現状を見直して、生徒らのボランティア活動を活発にして、彼らの社会性の育成を目指したいと思います。

結びにあたりまして、あらためて学校評価への皆様のご協力に感謝を申し上げます。幸いにも高い評価を得た項目については、さらに教員が研修を深めて尽力します。また、課題ありとされた項目についても速やかに検証作業を行い早急な改善を行なってまいります。

保護者の皆様におかれましては、今後とも忌憚のないご助言をいただくと共に今一層のお力添えのほど、よろしくお願いを申し上げます。



● 相談室便りより

3年生のみなさんは、もうすぐ卒業ですね。残りわずかの高校生活、周りの人々との時間を楽しんでくださいね。

1・2年生のみなさんも、これから登校日が少なくなります。次の学年に向けて少しずつ気持ちの準備を進めていきましょう。

《社会的支援（あなたを助けてくれる人たち）》

以前の相談室だよりで「ストレスと、その対処法」を紹介しましたが、今回は「ストレスの対処法」の一つ、「社会的支援」について紹介します。

「社会的支援」とは「人から助けをもらうこと」を意味しています。

人から助けをもらうなんて、子ども扱いされるみたいでカッコ悪い…なんて思っている人はいませんか？

みなさんの身近な大人たちも、様々な社会的支援を得ながら生活をしています。「助けてもらう」だとピンと来ないかもしれませんが、「協力してもらう」とか「詳しい人に教えてもらう」と言われると、そうかもしれないなぁと納得できるかもしれませんね。

それでは、「社会的支援」がどのようにしてストレスに対処するかを見てみましょう。

ストレス対処法は、以下の4つの種類に分けることができます。

- ① ストレスのもとをなくしたり弱めたりする対処法
- ② 感じ方・考え方を変える対処法
- ③ 体をほぐしてスッキリする対処法
- ④ 心をほぐしたり気分転換をする対処法

種類ごとに、「社会的支援（人から助けをもらう）」の具体例を見てみると…

- ① 周りの人と一緒に放課後や休日の過ごし方を見直し、心と体をゆっくり休ませる時間を作る（アルバイトの日数を減らす、など）。
- ② 周りの人から励まされたり意見を言うってもらうことで、感じ方や考え方が変わる。
- ③ 周りの人と一緒にスポーツをしてスッキリする。
- ④ グチや不安を周りの人に聞いてもらってホッとする。

あなたが十分に実力を出せるよう応援してくれるのが「社会的支援」です。たとえるなら、サッカーのサポーターのようなものですね。

相談室のカウンセラーも、みなさんにとって「社会的支援」の一つです。ぜひ上手に活用してくださいね。

